

議員提出第13号議案

消費税増税に反対する意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条の規定により提出する。

平成15年6月30日

提出者

足立区議会議員	鈴木	秀三郎
同	大島	芳江
同	針谷	みきお
同	渡辺	修次
同	橋本	ミチ子
同	伊藤	和彦
同	ぬかが	和子
同	さとう	純子
同	鈴木	けんいち
同	三好	すみお
同	松尾	かつや

足立区議会議長 鹿 浜 清 様

(提案理由)

国会及び政府に対し、消費税率を上げないことを求めるため、本案を提出いたします。

消費税増税に反対する意見書

政府税制調査会は、6月17日に提出した税制の中期的なあり方を示す「中期答申」で、消費税の税率引き上げを10%以上にすると必要があると強調した。

消費税率引き上げの理由にしているのは「財政の持続可能性の確保」や「社会保障支出の増大を支えるため」というものである。

しかし、財政を悪化させている一番の原因は、リストラ、企業倒産、高い失業率など、税収不足を招いている小泉内閣の経済失政にある。

また、医療費負担の増大、年金給付の削減、雇用保険の改悪など社会保障を縮小、抑制している中で「福祉」を消費税率引き上げの理由にするのは、あまにりも国民を愚弄するものである。そもそも消費税は、低所得者ほど負担が重いという点で、最悪の不公平税制である。

このような大增税では、家計消費が落ち込み、深刻な経済不況をますますひどくするばかりである。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、消費税率を上げないよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成 年 月 日

議 長 名

衆 議 院 議 長

参 議 院 議 長

内 閣 総 理 大 臣 あ て

経 済 財 政 政 策 担 当 大 臣

財 務 大 臣